

「県立高校改革推進プラン・第2次実施プログラム（案）」県民説明会 柏会場 2回目

- 1 日 時：令和7年7月18日（金曜日）午後6時30分から午後8時まで
- 2 場 所：柏市民文化会館 小ホール
- 3 内 容：「県立高校改革推進プラン・第2次実施プログラム（案）」の説明と質疑
- 4 参加者：11名
- 5 主 催：千葉県教育委員会

意見聴取の概要

Q 第2次実施プログラム（案）策定のプロセスにおいて、地域関係者が地域協議会に加わっているとあるが、地域関係者とは具体的に誰か。

A 東葛飾教育事務所長、光英 VERITAS 中学校・高等学校長、沼南高等学校長、柏商工会議所、柏市都市部都市計画課長、柏市教育委員会指導課長、柏市 PTA 連絡協議会事務局長など学識経験者・地域関係者・私学関係者・教育関係者で協議していただきました。柏市に関する委員の選定については、柏市都市計画課に依頼し、推薦をいただいております。なお、詳細については県ホームページに会議事録がありますので、御覧ください。

Q 地域協議会が開催された時期はいつか。

A 柏市においては令和5年1月6日、同年2月10日、同年3月17日の3回実施しています。

Q 使用校舎の選定にあたっては通学の利便性や教室数を考慮したとあるが、前回の質問で教室数は同じだと回答をもらっている。その訂正はしなくていいのか。

A 教室数は同じになります。なお、統合後の使用校舎の選定については、通学の利便性や、統合後の教育活動に対応できる教室や施設設備などを考慮して、総合的に判断し決定しています。

Q 我孫子市からの通学を考えれば、通学の利便性に関して沼南高校は不便ではない。柏市のどこを起点に利便性を考えたのか。

A 通学の利便性に関して、1つ参考にしたのは、沼南高校と沼南高柳高校の地域別生徒数です。両校とも柏市が最も多い人数となりますが、両校ともに柏市、松戸市から通学する生徒が約7割を占めています。

Q 通信制の高校は千葉大宮高校が既にあるが、新設される通信制高校はどういった学校になるのか。

A 通信制の課程では、オンラインを併用したスクーリングやレポートの電子化を推進してまいります。

Q 全国的に見ると定時制と通信制を併置している高校はいくつかあるが、その教育活動をどのように取り入れていくか、具体的に回答してほしい。

A 近県では神奈川、埼玉、栃木に定時制と通信制を併置した事例があり、県教育委員会として研究を進めています。定時制では卒業するために通常4年間かかりますが、他部や通信制の教育課程を履修することで、3年間で卒業できるなど、県内初のフレキシブルスクールとして多様なニーズに応じた教育課程を編成できます。

Q 統合後、沼南高柳校舎に移った場合、自宅近くの通いやすい高校へ転学することはできるか。

A 転学については、遠隔地への一家転住や、特別な事情で現状の学校に通学できない場合が対象に

なっています。また、各県立学校では教育課程が異なっていることも御承知おきください。

Q 沼南高校では4コースに分かれている。統合先の高校でもその学びは継承されるか。

A 第2次実施プログラム策定後、沼南高校と沼南高柳高校の教職員、県教育委員会で構成される統合準備室を設置します。統合後の教育課程については、統合準備室で検討します。

Q 私立が行っているような、通信制とサポート校のようなシステムを公立でも設置できるのではないかな。

A 千葉大宮高校では学生チューターという形で、教員志望の大学生がボランティアで学習サポートを行っています。今後も大学等と連携を図るとともに、引き続き通信制の在り方について研究してまいります。

Q 沼南高校と沼南高柳高校は自転車で26分とあったが、沼南高校に在籍していた生徒が、校舎が変更になり沼南高柳高校へ通学するのは難しいのではないかな。

A お示した情報は、校舎変更後の通学時間の変化ではなく、両校が同じ通学地域にあるというひとつの目安としています。

Q 沼南高校が無くなってしまうと、その辺一帯は県立高校の配置において空白地帯になってしまう。上総キャンパスのような分校のような形で残す方向も検討できないかな。

A 過去に上総キャンパスのように校舎を残す事例がありましたが、専門学科の学びを残すために必要という特殊な事情がありました。当時の記録で、統合後もそれぞれの校舎で学ぶことができるという意見があった一方で、別々のキャンパスでは、学校行事や部活動などにおいて支障が出るなどの意見がありました。

その他意見

○手賀の森地域は、災害時の避難場所が沼南高校になっている。仮に沼南高柳高校に統合になった場合、跡地は重要になる。地域住民の意見を聞いてもらいたい。

○適正規模とあるが、柏市においても都市部と準農村地帯に分かれている。県立高校を考える上でも地域の特殊性を検討してほしい。

○県東部や南部では地域連携協働校として指定されている。都市部においてもぜひ検討してほしい。

○現中学校3年生は、これから高校の学校説明会に行く。使用校舎について検討中なのであれば、今の中学校3年生は、統合後も沼南高校で3年間学び卒業できるよう検討してほしい。

○沼南高校では学び直しを行っており、かつ生徒が少ないため少人数になっている。統合後、沼南高校を使用しない場合、少人数ではなくなってしまう。統合後の校舎は検討中とあるが、沼南高校校舎で学ぶ機会を残してもらいたい。

○沼南高校の4コースの学びの特色を残してもらいたい。

○沼南高校が無くなった場合、類似した学校で我孫子東高校を挙げていたが、両校の学びのスタイルが違うので、そこも統合の判断基準にってもらいたい。